



【先週 5月26日～6月1日の外食の出来事】

■ローストビーフ、実は「成形肉」 マクドナルドに課徴金

消費者庁は24日、日本マクドナルドに対し、景品表示法に基づき2171万円の課徴金納付命令を出し、発表した。同社が販売していた「東京ローストビーフバーガー」の宣伝が、一般消費者の誤認を招くような内容だった。

■物語コーポレーション、2019年6月期 第3四半期の連結業績 増収増益

物語コーポレーションの2019年6月期 第3四半期の連結業績は売上高440億5000万円(前年同期比12.7%増)、経常利益37億5900万円(同17.9%増)、四半期純利益23億1900万円(同16.0%増)と増収増益を確保した。

■大戸屋ホールディングス、2019年3月期 通期の連結業績 減収減益

大戸屋の2019年通期の連結業績は売上高 257 億 2900 万円(対前年同期比 2.0%減)、営業利益 4 億 1400 万円(同 34.7%減)、経常利益 4 億 6300 万円(同 30.1%減)、当期純利益 5500 万円(同 73.0%減)と減収減益であった。

■力の源ホールディングス、2019年3月期 通期の連結業績 増収増益

力の源ホールディングスの2019年3月期 通期の連結業績は売上高 274 億 6600 万円(前年同期比 12.3%増)、経常利益 9 億 2200 万円(同 5.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益 6 億 1500 万円(同 3.0%減)であった。

■ピエトロ、2019年3月期 通期の連結業績 増収増益

ピエトロの2019年3月期 通期の連結業績は売上高 96 億 8300 万円(対前年同期比 0.7%増)、経常利益 5 億 3000 万円(同 4.1%増)、四半期純利益 2 億 8800 万円(同 1.2%増)と増収増益を確保した。

■ジー・テイスト、2019年3月期 通期の連結業績 減収減益

ジー・テイストの2019年3月期 通期の連結業績は売上高 247 億 9800 万円(対前年同期比 2.2%減)、経常利益 2 億 6500 万円(同 50.6%減)、親会社株主に帰属する当期純損失 7 億 400 万円(-)であった。

■4月の外食売上高、前年比 101.7%と32ヶ月連続で前年を上回る

4月は、東日本で気温が低かったことも客足にマイナスの影響。客数は前年を下回ったものの、季節メニューの投入やメニュー価格の改定等により客単価が上昇、全体の売上は 101.7%と 32ヶ月連続して前年を上回った。

■コメダ珈琲、47都道府県を制覇。モーニング文化を全国に広げた。

全国にフルサービス型の喫茶店「コメダ珈琲」を展開する株式会社コメダ が、6月7日にイトーヨーカドー青森店の1階に出店する。青森県への初出店となり、全47都道府県への出店を達成する。

■ワタミに8年ぶりに復活。創業者、渡邊 美樹氏。

ワタミ株式会社(本社:東京都大田区、代表取締役社長:清水 邦晃)が、2019年6月24日開催予定の第33期定時株主総会において付議される「取締役候補者」を発表し、創業者の渡邊 美樹氏を指名した。